

ドローンリモートセンシングによる生育把握

会社名 (株)クボタ 研究開発総括部
吉野担当課長
連絡先 06-6648-2499

概要

ドローンとマルチスペクトルカメラを用いた画像データを生育ステージに応じた解析アルゴリズムで生育マップ生成

簡単かつ短時間の作業で生育状態を把握でき、即適切な作業を実施可能。

追肥診断: NDVIと異なる指標で生育ムラを可視化
生育異常判断: 生育不良箇所は病虫害・雑草が多い。

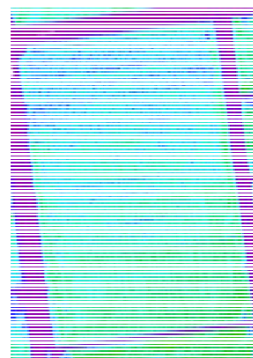
効果

空撮作業から生育マップ生成まで30分程度
その場で、生育量を確認し、追肥判断が行える。

- 一度の空撮作業で、7ha程度の広域データ取得が可能
- 圃場間・圃場内の生育量比較が容易
- 要注意圃場、生育異常部の特定が容易
- 畦畔雑草の活性度で防除判断

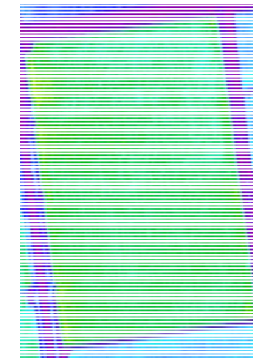
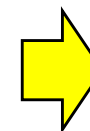
写真、図表等

【1】生育ムラに応じた可変施肥による収量・食味の安定化



幼穂形成期の生育マップ

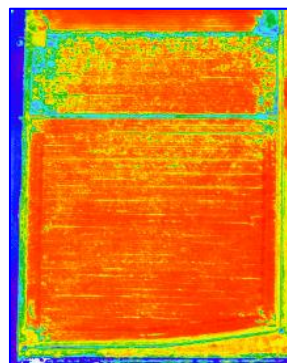
可変追肥



出穂期の生育マップ

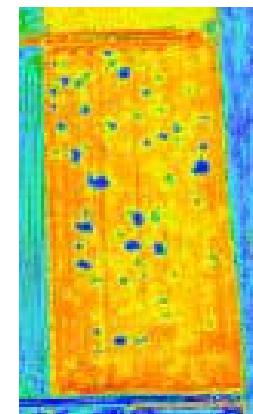
【2】生育異常(病虫害被害・雑草)の広域的把握

タニシ被害箇所の特定



幼穂形成期のNDVIマップ

坪枯れ被害把握



成熟期のNDVIマップ